

新文化会館整備に関する要望書について

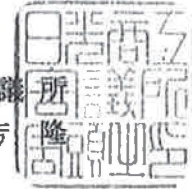
1. 新文化会館整備構想に対する要望書・回答書（日光商工会議所）
2. 新文化会館整備に関する要望書・回答書（日光地域自治会長会他）
3. 日光市文化会館整備計画の要望書（日光市文化会館の整備計画を求める有志）



日光商発第112号
令和7年1月17日

日光市長 粉 川 昭 一 様

日光商工会議所
会頭 相 良 芳



新文化会館整備構想に対する要望書

時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素より、当商工会議所の運営につきましては、格別なるご理解とお力添えを賜り感謝いたします。

さて、日光市における新たな文化会館の整備構想につきましては、これまで既存3施設を集約する形での候補地等の検討を進める過程で、幾つかの課題が顕在化したことから、当面の間留保しているものと聞き及んでいるところです。

当商工会議所としましては、こうした課題に加え、昨今の厳しい社会情勢、さらには持続可能な市政経営を維持する必要性に鑑み、この際、新文化会館の整備構想そのものを凍結しては如何かと考える次第です。

日光市では、合併により肥大化した公共施設が残存している中で、人口減少の煽りを受け、現状においても利用頻度が低く、今後の利用拡大も望めない大規模な会館施設を整備することに多くの疑問があります。

また、昨今の物価高騰から建設単価も上昇の一途を辿り、当初想定していた会館施設の整備事業費が膨張することは明らかであり、これは今後の行政経営や経済活動、ひいては市民生活に影響を及ぼす懸念が生じます。

財政に余力がないのであれば、施策立案にあたっては、今こそ選択と集中の考えに立ち、優先順位を明確化する必要があるのではないのでしょうか。

地域の総合経済団体である商工会議所といたしましては、日光市の未来を憂える者として、今後の経済活動に深刻な事態が生じる前に、また持続可能な日光市とするために待ったなしの英断を強く期待する思いから、新文化会館の整備構想の凍結を要望いたします。

要望の根拠

1. 日光市における市民1人あたりの公共施設の延床面積は、6.8㎡で、全国平均の3.67㎡を約1.9倍上回っており、これ以上公共施設を増設することは逼迫する市財政健全化の妨げになる。
2. 令和3年に改訂した日光市長期財政の収支見通し【総括】によると必要最低限の行政経営を継続するのも困難であり、想定される大規模事業をすべて実施するのは困難であるとしている。また、令和6年11月7日発刊下野新聞によると令和5年の経常収支比率は98.6%であり、県内市町の中で最下位である。
3. 現存する文化会館の利用頻度は年間開館日286日のうちリハーサル準備期間を除くと実質83日であり、年間30%にも満たない。また、現指定管理料は年間74,860千円で新文化会館を建設した場合、新たなデジタル機材対応のための人件費等ランニングコストが見込まれる。
4. 商工会議所の試算によると近年の物価高騰と建設市場の動向では、仮に令和10年に新文化会館を建設した場合、総事業費30%増の78億円と試算される。
5. 候補地である七里地内は洪水浸水想定区域及び砂防指定区域に指定されている。また、平ヶ崎地内は日光市水防計画において警戒水防箇所指定されており、仮に設置された場合、災害避難場所として二次災害を招く恐れがあり、当市が掲げる「安全安心なまちづくり」とは逆行するものである。

要望にあたっての付帯意見

1. 日光市は世界遺産を有し、また国立公園にも指定された国際観光都市である。我が国の著名な観光地においては、その殆どがランドマークとなる集合施設が設置されており、将来日光市の文化的活動を育む上で、国や県その他外郭団体からの新たな支援措置が講じられ、文化会館を建設する上で阻害要因が解消された場合は、再検討をしていただきたい。
2. 費用対効果の観点から市が新たな投資をする場合、それに見合った効果が必要である。例えば新たな産業団地の造成を優先し、企業立地を足掛かりに税収増と定住人口の増加を図っていただきたい。
3. 新文化会館を建設しない場合の代案として既存施設の有効活用や改築なども考慮していただきたい。(旧日光市の総合会館解体に伴い100人～200人規模の集会施設がない)
4. 500人以上の集会がある場合は、近隣市町とも連携し、利用し易い環境づくりを構築していただきたい。

日光商工会議所

会頭 相良 芳隆 様



「新文化会館整備構想」に対する要望書について（回答）

日頃から市政各般にわたりご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

令和7年1月17日付でご要望いただきました「新文化会館整備構想に対する要望」について回答いたします。

市では、市民の文化活動の場をより充実させるため、老朽化した三つの文化会館を一つに集約し、新たな文化会館の整備に向けて検討を重ねてまいりました。

その過程において、建設候補地を選定する際に幾つかの課題が顕在化したことから、それら課題に対する調査・研究を実施し、その結果をもとに、現在、新文化会館の整備のあり方について検討を行っているところです。

また、昨今の物価高騰が財政運営全般に大きな影響を及ぼしているため、各種事業の実施にあたっては、今後の財政状況を見極めながら、選択と集中を図っていく必要があると認識しております。

これらを踏まえ、新文化会館の整備につきましては、計画の見直しも含めて慎重に検討を行い、今年度末を目途に市としての考えを示してまいります。

令和7年2月3日

日光市長 粉 川 昭 一

日光市長 粉川 昭一 様



「新文化会館」整備に関する要望書

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日光市御当局におかれましては、平素より自治会活動に関しまして、深いご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、5市町村が合併し誕生した現日光市には、日光総合会館（昭和47年築）、藤原総合文化会館（昭和48年築）、今市文化会館（昭和51年築）の、文化会館機能を有する3館が存在することになりました。しかしながら、これら3施設は何れも建築後約50年が経過し、老朽化して様々な問題を抱える状況となり、現在日光総合会館（令和3年3月31日閉館）は撤去され、藤原総合文化会館は閉館（令和4年4月1日）され、今市文化会館は本年8月に閉館予定です。

このような状況を受け、市は日光市に相応しい「新文化会館」の検討を開始され、令和4年7月25日に「日光市文化会館のあり方検討市民委員会」（以下「委員会」と略）を立ち上げました。「委員会」は10回の会合を持ち、「新文化会館」の規模・機能・付帯施設・立地場所等を検討して来ましたが、令和6年4月22日の第10回会合の後、当分の間休会となりました。

日光総合会館が令和3年、藤原総合文化会館が令和4年に閉鎖され、今市文化会館が本年8月に閉館となれば、日光市には多数の市民が集う文化会館機能を有する公共施設が皆無となり、特に私達日光地域住民にとって既に4年の間皆無の状態となっております。文化会館は単に文化関係者や児童・生徒の汗の結晶を発表する場のみならず、多様な集会機能、避難所・場所機能等を有する重要な公共施設であります。

日光市にとり文化会館が長期間皆無となる事態を放置することは、市としての行政遅滞の責任が問われる事になると危惧します。日光市御当局におかれましては、多様な各種機能を有する文化会館の重要性に鑑み、「新文化会館」の早急・着実なる整備をお願い申し上げます。

令和7年2月20日

日光地域自治会長会 会長 岸野 稔

日光吹奏楽団 代表 篠原久生 「NISUMO」団長 中野弘行

日光混声合唱団 団長 宮地信良 コーラス「わたすげ」代表 大橋初江

「ピノキオ」コーラス 吉原 奈 「キッピス」代表 弓野博

「ポラリス」代表 小倉孝司

ピアニスト（とちぎ未来大使） 大嶋 浩

ピアニスト 宮地 ゆみ 宮地 ゆみ

声楽家 片岡 真理 片岡真理

日光地域自治会長会 会長 岸野 稔 様
日光吹奏楽団 代表 篠原 久生 様
日光混声合唱団 団長 宮地 信良 様
「ピノキオ」コーラス 指導者 吉原 和 様
「ポラリス」 代表 小倉 孝司 様
ピアニスト (とちぎ未来大使) 大嶋 浩美 様
ピアニスト 宮地 ゆみ 様
声楽家 片岡 真理 様
「NISUMORI」 団長 中野 弘行 様
コーラス「わたすげ」 代表 大藤 初江 様
「ギッピス」 代表 弓野 博子 様

新文化会館整備に関する要望書につて (回答)

日頃から市政各般にわたりご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

令和7年2月20日付でご要望いただきました「新文化会館整備に関する要望」について回答いたします。

市では、市民の文化活動の場をより充実させるため、老朽化した三つの文化会館を一つに集約し、新たな文化会館の整備に向けて検討を重ねてまいりました。

新しい文化会館が整備されるまでの間は今市文化会館を利用することとしておりましたが、今市文化会館の老朽化が進行しており、安全性の確保が著しく困難になったため、本年8月末をもって休館せざるを得なくなりました。

さまざまな活動の場である文化会館の重要性については、十分に認識しておりますが、文化会館の整備をはじめ各種事業の実施にあたっては、今後の財政状況を見極めながら、選択と集中を図っていく必要があります。

これらを踏まえ、新文化会館の整備につきましては、3月7日に開催する公共施設等あり方検討調査特別委員会および文化会館等あり方検討市民委員会において、市の考えを示す予定です。

令和7年2月27日

日光市長 粉 川 昭 一



日光市文化会館整備計画の要望書

令和 7 年 2 月 27 日

日光市長 粉川昭一様

日光市文化会館の整備計画を求める有志

代表 篠崎 智之

「市立文化会館の整備計画」に関し、現在日光市は様々な調査・議論を交わしていることは、令和 7 年 2 月 16 日に開催された日光市文化協会今市支部主催の新春芸能発表会における粉川市長の挨拶の中で説明を受け、市民としては一応の理解は致しました。

国は、令和元年 6 月 7 日改正「文化芸術基本法」（地域の自主性及び自立性を高めるための改革を図るための関係法律の整備に関する法律）を施行し、その前文にて、文化芸術の重要性を謳い、第 4 条にて地方公共団体の責務を規定しています。

世界文化遺産を有する日光市において、文化芸術がその役割を果たすことが出来るような「基盤の整備」及び「豊かな環境」を、次世代を担う子供たちに提供出来ないことは恥ずかしいことだと思います。

また、今や将来の世界のリーダーシップをとるための国家の資格は、経済力や軍事力ではなく、優れた「文化力」を持つことであるとも言われております。「文化力」を持ち備えた人間を育てていくことが、今を生きる私たちおとなの責務です。

文化会館は、文化芸術の「発信基地」であり、市民の心のつながりや相互理解が生まれ、また子供たちが「全世界に目を向けようとする」契機を生む大切な場所でありますので、この整備計画を確固たるものとするよう、当局の努力に熱く期待したく、6, 0 4 1 名の署名を添えて、下記事項を要望致します。

要望事項

早期に『日光市文化芸術基本計画』の策定を求めます。

早期に今市文化会館の後継となる施設の整備計画を策定し、その実行を求めます。

以上

日光市文化会館の整備計画を求める有志一覧

今市混声合唱団コールかわせみ 団長

住所：[REDACTED]

氏名： 篠崎 智之 [REDACTED]

邦楽研究会 代表

住所：[REDACTED]

氏名： 和久 文子 [REDACTED]

小倉町五丁目囃子連

住所：[REDACTED]

氏名： 佐伯 文郎 [REDACTED]

今市混声合唱団コールかわせみ 副団長

住所：[REDACTED]

氏名： 吉 郡 健二 [REDACTED]

今市混声合唱団コールかわせみ 副団長

住所：[REDACTED]

氏名： 吉 田 敦子 [REDACTED]

以上 5 名

2025年1月

日光市文化会館（今市文化会館後継施設）整備計画を求める署名のお願い

日光市文化会館の整備計画を求める有志

代表 篠崎智之

【請願趣旨】

老朽化が問題となっている今市文化会館は、代替となる施設の整備計画が頓挫したまま、本年8月をもってその機能を終了し、休館となる予定です。

日光市は財政の問題から今市文化会館の修繕工事を実施することはできないとされ、新たな施設の建設計画を策定して、市保有地から候補地を選定したところ、防災の観点から不適合の判断で、整備計画は白紙に戻されている状況です。

文化芸術の推進につきましては、『文化芸術基本法』に基づき、文化芸術を創造し、享受することは人々の生れながらの権利であること、年齢、障害の有無、経済的な状況又は居住する地域にかかわらず等しく文化芸術を鑑賞し、これに参加し、又はこれを創造することが出来るような環境の整備を図っていくことが、国と連携して地方自治体が行う責務となっています。

また、栃木県および県内の各市では、国の「文化芸術推進基本計画」に基づき、各自自治体におきましてその地方の事情に即した文化芸術の推進に関する計画（地方文化芸術推進基本計画）を定め、文化芸術の発展の目標が見えるものとしています。しかしながら日光市におきましては、こういった明確な計画はなく、財政上の理由から文化会館の必要性を否定する意見も出ております。

文化会館を失うことは、次世代を担う子供たちの様々な活動、例えば市内小中学校の学校音楽祭、保育園・幼稚園の発表会、また郷土芸能や一般市民活動等の発表の機会を奪うことになり、このことは日光市の発展を阻害することになります。

私たちは日光市の財政状況につきましては理解していますが、「私たちの日光市」の将来未来を熱感の上、市当局には英断を下して欲しいと思います。

以上のことから、下記の事項の実現を求めます。

【請願項目】

☆ 早期に「日光市文化芸術推進基本計画」の策定を求めます。

☆ 早期に今市文化会館の後継となる施設の整備計画を策定し、その実行を求めます。

氏名	住所（〇〇県△△市□□町※丁目#-#）

（注）署名にあたっては、同居の家族であっても「同上」「カ」などの省略をせず、一人ずつ住所（都道府県名から番地まですべて）と名前の記入をお願いします。

用紙が不足した場合は、お手数ですがコピーにてご対応下さい。

【取りまとめ】

集約日：2025年2月3日（月）まで

送付先：